



平成22年度 教育行政執行方針

教育長 山本 孝雄

はじめに

現在、我が国の経済環境は依然として厳しく、急速な雇用情勢の悪化など混迷の度合いを強めており、さらには、環境問題、エネルギー問題などさまざまな課題が山積してあります。子どもたちを取り巻く環境も生活の多様化や少子高齢化、核家族化など大きく変化しております。

いかに社会が変化しても時代を超えて変えてはいけない「不易」と、国際化、情報化への対応など時代の変化とともに変えていかなければな

らない「流行」を見極め、次代を担う子どもたちを、しっかりと支えていかなければならないものと思っております。

これからの社会環境に柔軟に対応していくため、自ら判断し解決できる力や他人と支えあう協調性などを培い、心豊かな子どもたちの育成を図ることが重要であると考えております。

また、町民一人ひとりが健康で豊かに過ごすため、人生の各時期に新たな知識の習得や芸術文化、スポーツなど生き生きと学び続けるこ

とができるような学習の機会や場の提供が必要であると考えております。

教育効果を高めるための条件整備

各学校においては、新しい学習指導要領の移行期間に入り、完全実施に向けた取組を進めており、円滑に移行できるよう支援してまいります。

教育用及び教師用コンピュータなど、情報通信技術利用環境の整備更新により、多様な学習方法の構築を図ってまいります。

図書整備については、5カ年計画に基づき継続して整備し、読書意欲の高揚を図るとともに、義務教材理科教材及び情報教育機器等についても、計画的に整備してまいります。

英語指導助手については、町内各学校等での英語学習をはじめ、新学習指導要領の実施により、小学5、6年生の外国語活動がスタートすることなどから、外国文化や生活習慣の理解を深めるとともに、生きた英語に接する機会を提供し、国際理解

教育の一助となるよう、有効に活用を図ってまいります。

「特別支援教育」については、総合的な支援を提供するため、学校や福祉などの関連する機関が一体となって支援する組織体制を構築することが必要となっております。今後、支援を必要とする児童生徒一人ひとりに応じた適切な指導及び必要な支援に努めてまいります。

なお、羽幌小学校の教育支援員配置については、顕著な成果をあげており、配置を継続してまいります。

次に、「全国学力・学習状況調査」については、本年度も調査に参加して取組の成果と課題を把握し、今後の教育指導や学習状況の改善に役立ててまいります。

教育環境の整備

学校施設の安全確保については、子どもたちの学習と生活の場であると同時に、地震などの大規模災害における地域の避難場所となることか

な状況把握に努めてまいります。

高等学校教育の振興と 幼児教育の推進

天売高等学校は、水産資源を活用した製造実習や地域環境をテーマとした研究など地域に根ざした教育を実践しております。小規模校であるからこそできるきめ細やかな教育の実践や地域と連携した特色のある教育の推進に努めてまいります。

羽幌高等学校は、生徒の多様な進路に対応した教育課程を編成し、地域の期待に応える学校づくりを推進しております。今後、羽幌高等学校の進める魅力ある学校づくりに対し、なお一層の連携と情報の共有化を図り、地元高校への志向が高まるよう努めてまいります。

幼稚園教育については、町内二つの私立幼稚園は、それぞれ特色を活かした教育活動を推進されており、今後とも就園奨励補助及び振興補助の継続と、英語指導助手の派遣など教育活動等への支援に努めてまいります。

地域に開かれた学校づくりと
学校職員の資質能力の向上

学校、家庭、地域社会それぞれが協働して、子どもたちを健やかに育てることが重要であり、地域社会に信頼される学校づくりが大切であります。学校の教育活動や学校運営の状況を積極的に保護者・地域に情報提供するとともに、自己評価や外部評価の充実を図り、開かれた学校づくりに努めてまいります。

また、教育委員会の事務事業の点検評価の実施により、町民への説明責任を果たし効果的な教育行政を推進してまいります。

学校が、その教育機能を十分発揮できるかどうかは、教職員の資質能

力によるところが大きいため、専門職としての知識や能力の向上を高めるための場や機会の提供に努め、教職員が持つている能力を最大限に発揮できるような環境づくりに努めてまいります。

心身ともに健全な人間性と
社会性を育む安全な環境づくり

児童生徒のいじめや不登校など問題行動は依然として深刻な状況にあるとともに、暴力行為については、全国及び全道で過去最多となったと公表されるなど大きな問題となっております。

一日の多くの時間を過ごす学校では、子どもの発するかすかなサインを見逃すことなく感じ取り、いじめや不登校など未然に防止することが理想ですが、学校だけで解決できるものではなく、学校、家庭が一体となり取り組んでいかなければ解決は出来ないものと思っております。

いじめや不登校、暴力行為が中学入学後に急増している背景に、いわゆる「中一ギャップ」問題があると言われております。小中学校間の接続が円滑となる取組に積極的に参画



学校給食の充実

学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた食事の提供とともに、正しい食事のあり方や望ましい食習慣の形成食に対する感謝の心など多くの要素をもって実施しております。

本年度より栄養教諭を配置し、食教育に関する指導体制の整備・充実に努めてまいります。また、地場産品の活用を図るとともに、食材の選定や衛生管理などに万全を期し安心安全な学校給食の提供に努めてまいります。

青少年教育

家庭や地域の教育力の低下、青少年の異年齢・異世代間の交流の減少、青少年の問題行動が深刻化している現代社会において、子ども達がすこやかに成長するためには、安全の確保や心身の健康とともに、家庭・学校・地域が連携・協力し、地域社会全体で子どもを育ていくことが重要

です。

このため、青少年関係団体等と連携を密にし、子どもたちの様々な体験活動や文化活動への関心を助長し、子ども会やスポーツ少年団活動など、集団での活動の中で主体的に考え、試行錯誤していく過程を重視した活動を支援します。また、町の事業として子ども自然教室やほっとクラブなど、いろいろな体験をする機会を増やすとともに、リーダーの育成、指導者の養成を推進してまいります。

乳幼児向け事業では、乳幼児親子を対象に「のびのび子育て教室」などを行い、親子で楽しく絆を深めることの出来る事業を行います。

国際読書年、国民読書年である今年「子ども読書活動推進計画」を策定し、かけがえのない一冊の本と出会い、豊かな人間性と生き方を身につけるよう関係機関やボランティア

平成22年度教育行政執行方針

グループなどと連携した読書活動の一層の振興を図ってまいります。

さらに、青少年の問題行動の未然防止については青少年問題協議会を軸に取り組んでおりますが、関係機関との情報交換を密にし、「あいさつ運動」「子どもパトロール隊」「子ども110番の家」等の活動を引き続き行い、地域の子どもは地域が守り育む「こと」の大切さを多くの町民に理解していただき、参加してもらったための啓発活動にも努めてまいります。

成人教育

急激な時代の流れの中でも「人生に生きがいと豊かさを見出し暮らしたい」と願うものです。人生のあらゆる時期に、最も適した手段と方法で知識や技術を習得できる機会と情報を提供していくことが重要です。

めてまいります。

姉妹都市 内灘町、友好町村 旧・平村（現在の富山県南砺市下梨地区）との文化・スポーツ交流も引き続き継続してまいります。本年度は、羽幌町子ども達がスポーツ・文化交流事業として、内灘町を訪問します。

社会教育は、生活のあらゆる機会と場所で行われる各種の学習や体育・スポーツ活動、芸術・文化活動であり、自発的に自己の充実や生きがいを目指して行われるものであります。町民が「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができ、その成果が地域のまちづくりに活かされるよう継続的、発展的な事業の推進と支援に努めてまいります。

おわりに

平成22年度の羽幌町教育行政執行方針を申し上げます。その執行にあたりましては、各関係機関・団体等と密接な連携を図りながら、本町教育の振興発展に努めてまいります。

家庭教育

家庭教育は、子どもにとって社会生活に必要な基本的な生活習慣を学ぶ、教育の原点であり、他人に対する思いやりや善悪の判断、社会のルールなど人間形成の基礎を培ううえで重要な役割りを担っております。

しかし最近、家庭の教育力について、様々な問題が指摘されています。本町においての家庭教育は、その中心となる親が子どもへの教育を充分に行うための知識・技能と態度について学習する「社会教育」として捉え、親と子どもとの成長を社会全体が支えるという考えのもとに、学習機会や情報の提供などを図ってまいります。

健康づくり、スポーツ活動

スポーツ・レクリエーション活動は、身体を動かすことによる爽快感、肉体的・精神的な充足感・達成感をもたらすことから、健康の保持・増進や体力の向上だけでなくストレス解消など重要な役割りを果たしています。

一昨年、体育振興の拠点とも言うべき総合体育館を指定管理として委



昨年設立された「はぼろスポーツクラブ」は、子どもから高齢者まで、技術や技能レベルに応じた複数のスポーツ種目を体験でき、質の高い指導者の下、定期的・継続的なスポーツ活動が行われており、今後の活動に大きな期待をしております。

文化活動

閉塞感の中でも芸術・文化に接することにより豊かな情緒を養い、社会を明るくします。

本町では、文化協会や個人の文化活動の場を提供するとともに、発表の機会や相互交流を図り、より活発で自主的な活動の支援を行ってまいります。

また、本年度も高い水準の芸術・文化の公演及び展示などをより多くの方々に鑑賞していただく事業を開催するとともに、他市町村で開催される作品展や舞台芸術の鑑賞など、地域間の文化交流も進



高齢者の組織的学習と学生自治会等交流の学舎である「いちい大学」や多様な学習ニーズに的確に対応した各種「成人講座」の開設、社会教育関係者やPTAの活動を高める研究大会の開催など、豊かな学習機会の確保に努めるとともに、学習情報の提供などを通して、生きがいや社会の連帯につながる積極的な学習活動を奨励し一層の充実を図ってまいります。